

彩のかがやき 高温対策を実施しましょう！

令和2年8月6日
埼玉県農林部

彩のかがやきの生育状況

長梅雨の影響で軟弱気味の生育を示していますが、現地では葉色が「4」を下回るほ場が見られます。普通栽培（6月植え）は、幼穂形成期～穂ばらみ期で葉色診断の時期です、しっかり観察しましょう。

今後の見通し

8月3日気象庁発表の高温に関する早期天候情報では、8月9日頃からかなりの高温が予報されています。出穂後20日間の平均気温が27℃を上回ると、白未熟粒の発生する危険性が高まります。

対策

出穂後20日間は
気温に注意！！

1 葉色確認と穂肥

彩のかがやき穂肥施用時期の目安

白未熟粒の発生を軽減するためには、最も重要な対策は、葉色診断に基づく適期・適量の穂肥の施用です。

田植時期	穂肥施用①	穂肥施用②	出穂期予想時期
6月10日	7月26日	8月10日	8月20日～21日
6月20日	7月30日	8月14日	8月24日～25日

基肥＋追肥体系でも基肥一発体系でも、穂肥施用②の時期（出穂15～10日前）に葉色が4を下回った場合必ずチッソ成分で2kg/10a程度の追肥を行いましょう。

2 水管理

穂肥施用時期～出穂7日後までは湛水状態を保ち、それ以降は入水したら水口を閉め、自然に落水させる間断かん水を行い根の活力維持に努めましょう。中干しが十分できなかったほ場では、間断かん水で地耐力を高めるようにして、早期落水は避けてください。

農作業中の熱中症にご注意ください。